



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

オンライン全校朝会をやりました



6月29日にオンライン全校朝会をやりました。

「クラスルーム」というオンライン上の教室に全児童、教職員を登録し、「ミーティング」というテレビ会議システムに入りやすくしておきました。大きなトラブルはなく、全員が「ミーティング」に入ることができました。

校長講話では「スライド」というアプリで作った越前水仙についてのスライドを画面共有しながら話しました。スクールプランの中に開かれた学校の具体的取組として、「地域の人的・物的資源を活用してふるさと学習を推進する」があります。本校では越前海岸の水仙畑、糠の文化的景観が国の文化的景観に指定されたことを受け、越前水仙を河野の宝としてとらえ、大切にしていける活動に取り組みます。2学期早々ゲストティーチャーをお招きし、越前水仙に関するふるさと学習、越前水仙の栽培に取り組む予定です。

ふるさと学習の時にゲストティーチャーに児童からの質問に答えていただこうと思いますが、今回は紙に質問を書くのではなく、「フォーム」を使ってオンラインで児童からの質問を募集します。

オンライン全校朝会のもう一つのねらいは、学校閉鎖や学級閉鎖となった場合に学力保証として考えているオンライン授業の練習をすることでした。校長講話の中で児童に「河野地区の水仙栽培農家が急に減っている理由を予想します。思いついた人はチャットに書き込みなさい。」と指示し、チャットの使い方を実演してみました。これはオンライン授業で手軽に意見を聞く手段の一つです。ICT機器を使いこなすには、使う体験を増やすことが必要です。さらにICT機器の活用を広めていきます。